

各地域の情報

福島県「東日本大震災で最大限に利活用された福島空港」

東日本大震災において、仙台空港をはじめとする空港、道路、鉄道等多くの交通インフラが不通となる中、「栃木・福島地域」に位置する福島空港は、航空機の運航に支障となる被害はなく、地震当日から災害復旧の最前線基地として最大限に利活用されました。

定期便に加えて多数の臨時便が運航され、また、救援・支援物資を積載した自衛隊機等が多く離着陸し、さらには、医療機関のドクターヘリや報道各社のヘリコプター等も福島空港を拠点として活動するなど、災害対応の重要拠点としての存在感を示しました。

【福島空港到着機数（目的別集計） 平成23年3月11日～4月30日】

(単位：機)

月 日	旅 客			輸 送 (救援物資 等)	救 援 (消防防災ヘ リ等)	報道関係	その他	合計
	定期	臨時	チャーター					
3月11日 ～31日	108	135	5	136	311	86	49	850
4月1日 ～30日	195	10	0	21	140	10	57	433
合 計	303	145	5	157	471	96	106	1283
利用機数 (到着機数×2)	606	290	10	314	942	192	212	2564
	453							
	906							



【自衛隊輸送機による救援物資輸送】
(平成23年3月20日撮影)



【ロシア軍大型輸送ヘリによる救援物資輸送】
(平成23年3月15日撮影)